

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社大真空本社工場新築工事	階数	地上5F
建設地	兵庫県加古川市野口町水足字東代	構造	S造
用途地域	市街化区域、工場地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,390 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年2月6日
敷地面積	17,226 m ²	作成者	株式会社奥村組西日本支社
建築面積	3,103 m ²	確認日	2023年2月6日
延床面積	9,781 m ²	確認者	株式会社奥村組西日本支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 環境に配慮した資源を使い室内環境やサービス性能の向上に努め、施設利用者が快適に過ごせ建物を作ろうとしている。	その他 特になし	
Q1 室内環境 F★★★★の建築材料をほぼ全面的に使用。	Q2 サービス性能 建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。	Q3 室外環境(敷地内) できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー BPI0.84 BEI0.75	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を利用し、資源の有効活用に努めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される